

サシバエ吸血被害を減らそう（成虫対策）！！

県央家保だより

平成28年9月1日

暑さによる暑熱ストレスが終わると、サシバエによる吸血ストレスが激化していきます。サシバエの吸血は痛みによるストレスの他、病原体を運ぶので十分な対策が必要になります。



サシバエは植物の葉で休息するので、畜舎周辺の草刈りは成虫対策になります。よく見ないとわかりにくいですが、尖った口吻器がサシバエの特徴です。



牛の足や腹部に付着し、吸血を行います。また、毛の中に潜り込み、牛に乗り寄り移動します。牛の足踏みや身震いはサシバエが吸血しているサインです。

サシバエ吸血被害対策のポイント

- 1) 成虫駆除(粘着シート、殺虫剤等)
- 2) 牛体への忌避剤散布
- 3) 牛舎への侵入阻止(防風ネット等)

薬剤を使用する際は製品の用量・用法を守り、安全な畜産物の生産を心がけましょう。



粘着シートや電撃殺虫器を設置する際は、ハエが休息する暖かい場所で、ハエが吸血する高さ(牛の腹部程度まで)に設置します。



ネットにトラップされたサシバエ頭部が網に挟まって動けなくなっています。



ネット設置のポイント

- 1) 地際から設置
- 2) 2mm目で侵入防止
- 3) ハエの発生源と牛舎の間に設置する
- 4) 換気対策も実施

殺虫剤をしみこましたネット製品では、2mm以上の製品もあります。

栃木県県央家畜保健衛生所

TEL 028-689-1200

FAX 028-689-1279

サシバエ吸血被害を減らそう（幼虫対策）

家畜の吸血を行うサシバエは、ストレスや痛みの原因となるばかりでなく、牛白血病等を媒介する事が知られています。サシバエの雌1匹は**800個**も産卵するといわれています。サシバエ防除は卵、ウジ及びサナギの段階で行うのがポイントです。



対策 こまめな除糞
サシバエは家畜糞に産卵します。
赤丸部分の殆ど動かない家畜糞は
絶好の産卵場所です。
このような敷料を早めに除去します



対策 堆肥の切り返し
サシバエは家畜糞に産卵します。
堆肥舎では堆肥の表層に産卵します
堆肥切り返しで堆肥全体に発酵熱を伝え、
ハエの卵を滅殺します。



対策 隅々まで掃除
畜舎や堆肥舎の壁や床に張り付いた堆肥等の中からも、ハエのサナギは見つかりました。
隅々まで掃除をし、サシバエの繁殖場所を無くしましょう。



対策 IGR（昆虫成長制御材）の利用
IGRはハエが成虫になるのを阻害する薬剤です。
こまめな除糞が不可能な場合は、IGRの用量・用法に従い、ハエの繁殖場所となる場所に薬剤を散布し、成虫の発生を抑えます。

サシバエは暑さの収まる9月頃から発生が増え、10月半ば頃にピークを迎えます。早めの対策で、被害を軽減させましょう。

栃木県県央家畜保健衛生所

TEL 028-689-1200 FAX 028-689-1279